



★今月号のラインナップ

1. [ひろば](#)

「オリンピック イヤー」に思いを寄せて

スポーツ課長 茅野繁巳

2. [特集](#)

「長野県教員研修体系」について

教学指導課

3. [今、学校では](#)

「長野県絶滅危惧種オオアカウキクサ（学名：アゾラ）の農業利用地域連携」

～お米甲子園金賞受賞までの取り組み～

長野県臼田高等学校農業クラブ・農業研究班

4. [ご存知ですか](#)

インターネットや情報通信機器の適切な利用について

教学指導課心の支援室

5. [イベント情報・お知らせ](#)

6. [あとがき](#)

「オリンピック イヤー」に思いを寄せて

スポーツ課長 茅野繁巳

新しい年を迎え、いよいよ「第22回オリンピック冬季競技大会」が2月7日から23日までの17日間の日程で、ロシアのソチで開催されます。ノルディックスキー複合、ジャンプ、スピードスケート、ショートトラック等の競技において、本県出身の選手が日本選手の中核を担い、メダル獲得に挑むこととなりますが、それぞれの選手の活躍を心から期待するとともに、県民の皆様と共にしっかり応援していきたいと、気持ちを新たにしています。



さて、昨年3月に県教育委員会では、「スポーツが変える」～人・暮らし・地域・未来～を基本理念とした「長野県スポーツ推進計画」を策定しました。東日本大震災において被災者を励ましたスポーツ界の取組や、国際舞台で活躍するアスリートが子ども達に与える夢と希望など、スポーツのもつ限りない大きなチカラやスポーツの持つ魅力で人を惹きつけ、感動させ、そして行動を起こさせるチカラ等スポーツが、一人一人のくらしや地域、その明るい未来を創造する牽引役となることを願い、推進計画に基づいた様々な施策を積極的に取り組んでいるところです。

そのような中、2020年の夏季オリンピック・パラリンピックの開催地が「東京」に決まり、大きな夢と感動を与えてくれる「夢の舞台」が日本で開催されることになりました。県教育委員会としても、オリンピック・パラリンピック等の国際舞台で活躍できる次世代のアスリートの育成に、積極的に取り組んでいきたいと決意を新たにしています。是非、本県の中学生や高校生の中から、2020年に活躍するオリンピック選手が誕生することを心から期待しております。

長野県教育委員会では、今年度、長野県の学校教育の理念、教員の使命・任務、教員に求められる資質能力、そして、教員研修の在り方までを一貫してまとめた「**長野県教員研修体系**」を作成いたしました。この「長野県教員研修体系」は、平成 24 年度、度重なる教員の不祥事の発生に対して設置された「教員の資質向上・教育制度あり方検討会議」の提言に基づいて作成されたものです。

教員研修体系では、長野県の学校教育の理念を、子どもを中心にした教育、地域に開かれた学校という意味から、「子どもの内なる力を伸ばす教育」と「地域と共に歩む学校」と示しました。また、長野県の教員の使命・任務を、教員の根本的な在り方として、「子どもの命と安全を守り、夢や希望を育む」と「専門性を磨き、人間力を高めるために学び続ける」と位置付け、「守り、育み、学び続ける」を、キーワードとしました。

そして、教員に求められる資質能力を5つの点でまとめるとともに、資質能力を付けるための今後の教員研修の在り方を、次の4つの点から示しております。

- 1 「集める」研修から、「出向く」研修へ
- 2 「広く人と交わること、体験すること」を重視し、人間力を高める研修へ
- 3 さまざまな機関と連携・協働し、開かれた研修へ
- 4 自主的な研修の重視

今後、この4点を踏まえ、研修を実施していきますが、「学び続ける教員」を支援するため、指定研修の充実、研修記録の活用、研修の評価方法の見直し等を行うこととしています。

その中で、**ライフステージに応じた節目の研修として、40歳代の教員を対象に「キャリアアップ研修」**を新たに設定しました。この研修では、教員としての在り方を見つめ直す機会を設定するとともに、中堅教員の実践力を高める研修を実施します。

平成 26 年度から、新たな教員研修体系に基づいた研修を実施することで、長野県の教員の資質向上を図ることはもちろん、長野県教育の信頼回復へとつなげてまいります。

▼詳細をホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kyogaku/gakko.html>

目次に
戻る

◆お問い合わせ◆

教学指導課 義務教育指導係

TEL : 026-235-7434

FAX : 026-235-7495

e-mail : kyogaku@pref.nagano.lg.jp

「長野県絶滅危惧種オオアカウキクサ（学名：アゾラ）の農業利用地域連携」

～お米甲子園金賞受賞までの取り組み～

長野県臼田高等学校農業クラブ・農業研究班

私たちは9年前より、千曲川の支流片貝川上流に位置する佐久市十二新田地蔵池に生息するオオアカウキクサの調査研究をしています。このウキクサは普通のウキクサと違い、シダ植物の仲間で、学名を「アゾラ」といいます。このアゾラという言葉は”乾燥で枯死する”という意味で、近い将来いなくなってしまう生物・絶滅危惧種として長野県で指定されています。最大の特徴として、空気中の窒素ガスを、自分の体の中にある微生物の力をかりてアンモニア肥料に変えることがわかり、オオアカウキクサの保護と農業への活用をテーマに「オオアカウキクサ・プロジェクト」を実践しています。

【これまでの調査・研究から】

私たちは、アゾラの特徴に着目し、緑肥としての活用や水面で広く繁殖することで雑草抑制への活用方法を検討してきました。これまでに、稲作へのアゾラ導入を目指す中で、アゾラを人工的に量産する方法の確立をしてきました。また、アゾラの成長にはリン酸が重要であり、なるべく早い時期に、アゾラをハウス内から、風通しの良い野外の人工池に移し、追肥に過リン酸石灰を施肥することで、効率良く量産することができるようになりました。更にヒエ対策として、深水栽培とアゾラの組み合わせにより、米の収量への影響を少なくする栽培方法を確立し、収量が10a当たり約180kg多い結果となりました。更に、農家の高齢化による農地の放置や荒廃地の増加が日本農業の課題の一つとなっている地区の文化祭等で多くの方から伺い、アゾラを地力の保持と休耕田管理に活用できないかを地区の休耕田を借用し、アゾラによる休耕田管理や「アゾラ培養土」の商品化を目指し、取り組み始めています。

【第4回全国農業高校お米甲子園へ挑戦】

アゾラ通じた地域連携は、様々な形で地域に広がっています。7年前から切原小学校5年生のイネの学習にアゾラを取り入れてもらい、アゾラについての学習やアゾラを増やすための池作り、バケツイネの実験を通じて、足元の生物資源を利用した農業や食育について相互交流を深めています。また、JA佐久浅間主催の「農業体験教室」でのアゾラ学習や田植え体験など、アゾラの稲作への利用を地域に発信しています。更には、佐久農業改良普及センターや佐久市有機農業研究協議会と連携し開催した「佐久市水田保全シンポジウム」や「佐久地区水めぐりウォーキング」では、本校の研究を地域に広く報告する機会となりました。このようにして、地域連携の中で展開してきた私たちの活動は、これまで「日本水大賞・農林水産大臣賞」の受賞をはじめ、昨年度はイオングループと毎日新聞社主催の「第1回高校生エコワンコンクールグランプリ大会」出場につながるながっています。

そんな中、昨年栽培したアゾラ米が、JA佐久浅間の米の等級検査で1級（特A）をいただきました。そこで本年度、「自分たちの栽培しているお米の食味を知りたい」とクラブ員の声から、食の検定協会が主催する「全国農業高校お米甲子園」を知り、初めて本校特別栽培「アゾラ米」を出品することになりました。

アゾラ米の栽培の最大のポイントは、いかにアゾラを水面に広く繁殖させるかという点と、7月上旬の中干し（落水させお米の充実を図るためにおこなう）により、アゾラを水面に張り付け、土壌中で

腐植分解させ、緑肥効果を引き出す点です。本校では、アゾラとヒエ対策のための深水栽培との組み合わせにより、夏場の高温障害を押さえ、米の胴割れや未成熟を防ぎ、品質の良いお米の栽培につながったと思います。

平成25年11月24日（日）に宮城県で行われた米・食味鑑定士協会主催の「第4回全国農業高校お米甲子園」にて栄えある金賞（全国で5校）に輝きました。

今年度は、全国から74校が参加。1・2次審査を通過した20校の米の食味官能最終審査で受賞が決定しました。今後は、臼田高校ブランド「アゾラ米」を地域に発信するため、来年度以降も栽培技術向上に、農業クラブ員一丸で頑張りたいと思います。

私達の小さな活動が、「安全な食料生産と生物や人に優しい農業先進地・佐久」を目指すきっかけとなることを願い、今後も地域と一緒に「アゾラ・プロジェクト」に取り組んでいきたいと思っています。



アゾラ米の栽培水田



水田に広がるアゾラ



アゾラの水田への投入



佐久市立切原小学校との学習交流

[目次に
戻る](#)

◆お問い合わせ◆

長野県臼田高等学校

TEL 0267-82-2035（代表）

FAX 0267-81-1077

Mail usuda-hs@pref.nagano.lg.jp

ご存知ですか

インターネットや情報通信機器の適切な利用について 教学指導課心の支援室

長野県教育委員会が平成 25 年 7 月に実施した「携帯電話とインターネットについてのアンケート調査」の結果によれば、高校生の 8 割以上がスマートフォン（多機能型携帯電話）からインターネットに接続しています。また、小学生の 3 分の 1 以上が携帯型ゲーム機から、中学生の 4 分の 1 以上がポータブルメディアプレーヤー（携帯型音楽プレーヤー）からインターネットに接続している実態が明らかになっています。

◆ 平成 25 年度「携帯電話とインターネットについてのアンケート」調査結果

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kyogaku/shido/ketai/nagano/documents/keitai25.pdf>

このように、今、子どもたちは、様々な情報通信機器からインターネットに接続し、音楽や動画を視聴したり、オンラインゲームを楽しんだりしています。また、ツイッターやLINE（ライン）などのSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス※）を積極的に利用して、友だちやインターネットで知り合った相手とのやりとりをしています。

※ SNSとは、コメントや画像などのやり取りを通じて、人と人とのつながりを促進することを目的にしたインターネットのサービスです。身近な出来事から社会的な関心事に至るまで、様々な情報を交換することができます。

こうした中で、「ネット依存」、「いじめ」、「有害情報の閲覧」、「不適切な投稿」、「高額料金の請求」、「不正アクセス被害」、「性犯罪被害」等、**子どもたちが様々なトラブルや犯罪に巻き込まれるおそれが高まっています**。

そこで、長野県教育委員会では、教員の情報モラル指導力を向上させるための研修を実施しています。また、指導資料を作成し県内の全学校に配布するとともに、県教育委員会ホームページに「ケータイ・インターネット指導のためのポータルサイト」を設け、携帯電話やインターネットに関する情報や指導のヒントなどを掲載しています。

◆ 情報モラル指導資料「@nagano（ユビキタスながの）」

vol. 21 から vol. 25 では、スマートフォンや無料通話・メッセージアプリ、携帯型のゲーム機や音楽プレーヤーについて特集しています。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kyogaku/shido/ketai/nagano/download.html>

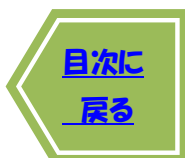
クリスマスのプレゼントやお年玉を使用して、情報通信機器やゲームソフトを購入したご家庭もあると思いますが、危険性をよく理解されないまま買い与えていないでしょうか。子どもたちをインターネットの危険から守るためには、保護者や地域の方にも現状を理解していただき、学校と家庭・地域が連携を強化していくことが重要なことです。

長野県教育委員会では先月、教育長が県PTA連合会会長及び県高等学校PTA連合会会長と連名で、インターネットや情報通信機器の安全・適正な利用について、ご家庭と子どもたちに向けてメッセージを発表しました。

◆ 「インターネットの安全な利用に関する共同メッセージ」

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kyoiku/shido/ketai/internet.html>

この共同メッセージにもあるように、インターネットや情報通信機器の利便性や危険性について、家庭や地域で話をする機会をつくり、家庭における利用上のルールを親子いっしょに話し合っ決めてください。そして、決めたルールは必ず守らせるよう、是非、「ペアレンタル・コントロール」（保護者による監視と利用制限）の徹底をお願いします。



◆お問い合わせ◆

教学指導課心の支援室

Tel 026-235-7450

Fax 026-235-7495

E-mail kokoro@pref.nagano.lg.jp

イベント情報・お知らせ

★長野県立高等学校通信制課程 4月入学生を募集します★

長野西高等学校と松本筑摩高等学校では、4月からの通信制課程の生徒を募集します。

志願資格は、中学校を卒業した方又はこの春卒業見込みの方で、高等学校を退学した方の編入もできます。いずれも学力検査は行いません。

入学願書の受付は3月31日（月）まで。

詳しくは、長野西高等学校又は松本筑摩高等学校まで、直接お問い合わせください。

○ 入学願書の受付期間

平成26年3月3日（月）～ 3月31日（月） 午後5時まで

○ お問い合わせ先

- ・長野西高等学校通信制（東北信にお住まいの方）
電話 026-234-2262
- ・松本筑摩高等学校通信制（中南信にお住まいの方）
電話 0263-47-1526

■ お問い合わせ
高校教育課 管理係
TEL : 026-235-7430
FAX : 026-235-7488
E-mail : koko@pref.nagano.lg.jp

★スポーツ課からのお知らせ★

◆第69回国民体育大会冬季大会 スケート競技会・アイスホッケー競技会

日時：平成26年1月28日（火）～2月2日（日）

会場：栃木県日光市

第69回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会に『チーム長野』として本県選手団が出場し、奮闘します。

みんなで応援しましょう！

※詳細は下記のHPをご覧ください。

<http://www.nikko-kokutai.jp/>

◆第 69 回国民体育大会冬季大会 スキー競技会

日時：平成 26 年 2 月 21 日（金）～24 日（月）

会場：山形県山形市蔵王温泉スキー場／上山市上山・坊平高原クロスカントリー競技場

第 69 回国民体育大会冬季大会スキー競技会に『チーム長野』として本県選手団が奮闘します。
みんなで応援しましょう！

※詳細は下記のHPをご覧ください。

<http://yamagatajuhyo-kokutai.org/>

◆第 34 回全国中学校スケート大会

日時：平成 26 年 2 月 1 日（土）～4 日（火）

会場：スピード：エムウェーブ

フィギュア：ビッグハット

第 34 回全国中学校スケート大会が開催されます。
みんなで応援しましょう！

※詳細は下記のHPをご覧ください。

<http://homepage3.nifty.com/skating-nagano/>

◆第 51 回全国中学校スキー大会（ノルディック種目）

日時：平成 26 年 2 月 2 日（日）～5 日（水）

会場：ジャンプ：野沢温泉シャンツェ

コンバインドクロスカントリー：野沢温泉スキー場 南原クロスカントリーコース

第 51 回全国中学校スキー大会が開催されます。
みんなで応援しましょう！

※詳細は下記のHPをご覧ください。

<http://zenchuski-51st.jp/>

◆第26回全国高等学校選抜スキー大会（ノルディック種目）

日時：平成26年2月12日（水）～15日（土）

会場：ジャンプ：野沢温泉シャンツェ

クロスカントリー：野沢温泉スキー場 南原クロスカントリーコース

第26回全国高等学校選抜スキー大会（ノルディック種目）が開催されます。

みんなで応援しましょう！

※詳細は下記のHPをご覧ください。

<http://www.nozawa-tv.net/stock/index.php>

■お問い合わせ

スポーツ課

TEL：026-235-7447

FAX：026-235-7476

E-mail：sports-ka@pref.nagano.lg.jp

[目次に
戻る](#)

[◆長野県のホームページのリニューアルに伴い、長野県教育委員会のホームページのURLが変わりました](#)

[◆新しい信州ブランド戦略の「キャッチフレーズ&ロゴマーク」と「スローガン」をご活用ください。](#)

[◆子どもたちがインターネット上のトラブルに巻き込まれないために注意すべきことを共同メッセージとして発表しました](#)

[◆長野県中学生期のスポーツ活動指針（素案）を策定しました](#)

あとかき

あけましておめでとうございます！！メールマガジン2月号をお届けします。

とうとう、2014年になりました。2000年代も、早14年ですね。

がんばって、旬な情報をお届けしたいと思います。

きがついたことがあったら、ご意見お寄せください。

(「あとかき」であいうえお作文を作ってみました)

本年も、「教育ながの」をどうぞよろしく願いいたします。

先の年末年始は最大9連休とのことでしたが、どのように過ごされましたでしょうか。
私は先日、とある神社に初詣に行ってきました。

一説には、「お賽銭を5円にすると、良いご縁がある」そうなので、財布の中に5円玉を用意しておきました。

ところが神社に行く前に食事をした時、お賽銭のための5円玉を会計の際にうっかり支払ってしまい、財布の中には10円玉1枚きりが残るのみでした。

「しょうがないか」と思って店を出ようとしたとき、レジにいた女性が「5円玉に両替しますよ。御利益があるようにピカピカしてる新しいヤツにしておきますね♪」と、言ってくれました。ありがたく申し出を受け、なんだか暖かい気持ちで初詣を済ませることができました。

(か)

[目次に
戻る](#)